

アイデム 人と仕事研究所

2017年卒就職・採用活動に関する調査 — 総括

## 2017 就活は「短期決戦」

### 選考解禁直後から就職活動終了者が続出

### 学生も企業も早期から動き出し

— 「短期決戦」時代の新戦略？ インターンシップ等で入社意欲を早期醸成 —

#### <学生>の状況

前年よりも短期間かつ早い進捗ながら、少ない応募で内定を獲得  
選考解禁の6月までに54.2%の学生が就職活動終了 一方で「準備不足」との反省も  
インターンシップ 夏期参加者の46.4%、秋期・冬期参加者の77.3%が採用選考に応募

#### <企業>の状況

「面接選考開始」のピークは、選考解禁よりも2ヵ月早い4月 6月は「内定出し」のピーク  
早期にエントリー・応募受付を開始した企業ほど、採用活動の満足度は高い  
インターンシップ実施企業は増加し、「選考の一環」へ

アイデム人と仕事研究所では、2017年3月卒業学生の就職活動、企業の採用活動について、2016年2月からアンケート調査を行なっている。本レポートは、今まで行なったアンケート調査をもとに、これまでの就職活動・採用活動の動きをまとめたものである。

2017卒学生の採用活動を対象とする「採用選考に関する指針」を受け、選考解禁が6月へと2ヵ月前倒しになった本年度。採用活動を指針に沿って行なう企業と、独自のスケジュールで行なう企業が入り混じる中、学生の進捗からは、実質的な選考が6月より前に行われているケースが少なくない状況が明らかになった。また、広報解禁から選考解禁までの期間が短縮されたことで、企業からは応募者確保を懸念する声も聞かれる。そのため、インターンシップなどを通して学生と早期からの接点づくりに注力する企業も少なくなく、情報収集のためか学生の参加率も高い。特にインターンシップにおいては、選考の一環と捉える企業も多く、新卒採用活動における存在感が増してきている。

株式会社アイデム

◆広報担当／望月・栗木 tel 03-5269-8780

◆調査担当／岸川・菊地・古橋

<https://apj.aidem.co.jp>

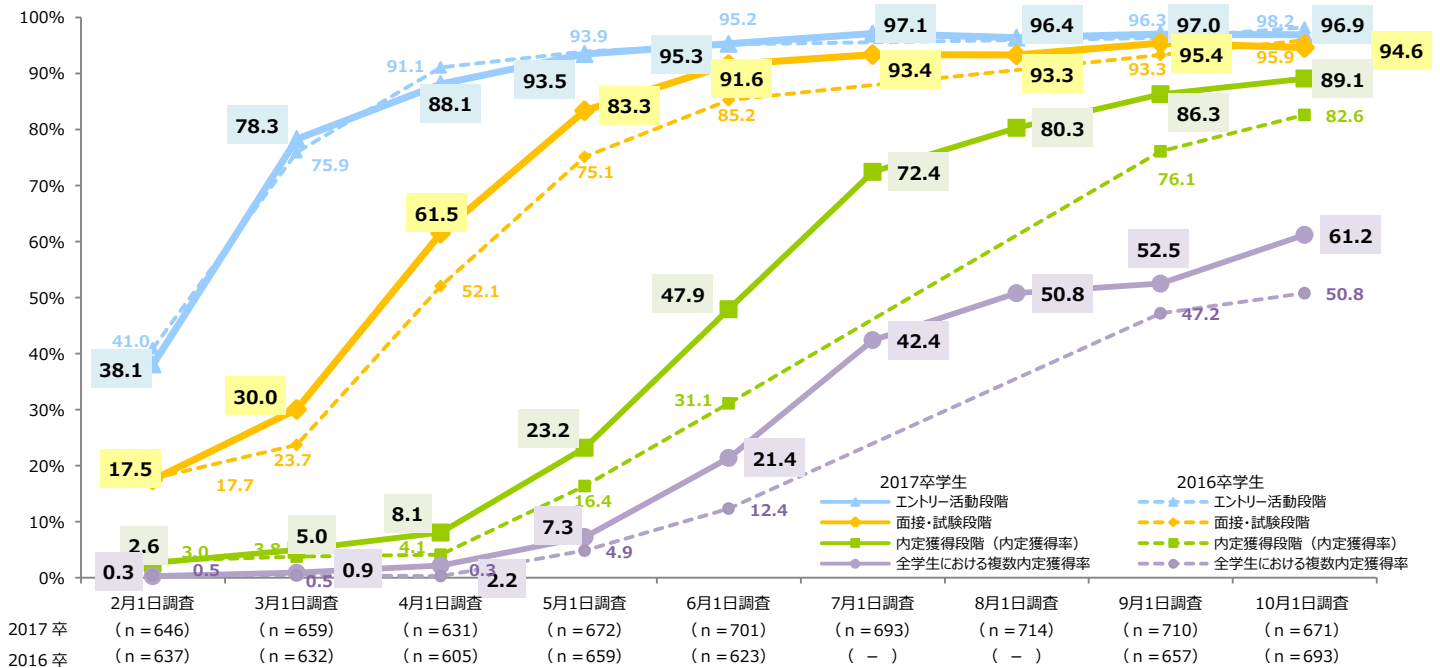
## <学生>の状況

### 選考時期の繰り上げ分だけ早く進む就職活動

### 前年よりもスムーズに選考を通過し、選考解禁 1 ヶ月で早くも就職活動終了モードに

2017 卒学生の就職活動は、前年よりも進捗が早い。「エントリー活動段階」到達者の割合は前年と大きな差はないが、「面接・試験段階」「内定獲得段階」到達者は、前年より速いペースで増えている。「内定獲得率」も、選考解禁の 6 月 1 日時点で 47.9%と約半数に上り、前年同月調査を大きく上回った。「全学生における複数内定獲得率」も前年よりも高水準で推移し、選考解禁が繰り上がった 2 ヶ月分まるまる進捗が早くなると同時に、内定獲得状況も順調なようだ(図 1)。

図 1 2017 卒学生就職活動の進捗 (各活動ステータス到達状況)



2017 卒学生の 10 月 1 日時点の応募・選考状況を見ると、前年より少ない応募企業数にもかかわらず、面接選考を受けた企業数、内定獲得社数は前年と同水準となっている。2017 卒学生の内定獲得までの道のりは、2016 卒学生ほどは険しくなかったようだ(表 1)。

表 1 選考参加企業数と内定獲得社数 (平均)

10/1 状況調査	2017 卒	2016 卒
応募企業数	27.08 社	35.07 社
面接選考企業数	13.54 社	13.34 社
内定獲得社数	2.30 社	2.29 社

また、2017 卒学生は、進捗の早さとスムーズな選考通過があいまって、就職活動の終了も早い。就職活動終了者(※10 月 1 日時点で、内定を獲得し、就職活動を終了した学生:全体(671 名)で 78.4%)のうち、39.5%の学生が 6 月中に就職活動を終了させている。それ以前の時期も合わせると、実に 54.2%の学生が選考解禁 1 ヶ月で終了モードとなっているようだ(図 2)。

また、10 月 1 日時点で 1 社以上の内定を獲得した学生に、“最初の”内定獲得時期を聞くと、選考解禁の 6 月より前に既に内定を獲得済みの学生も多く、46.3%に上っていた(図 3)。

図 2 就職活動終了時期

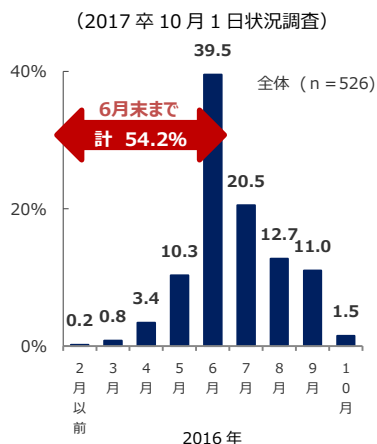
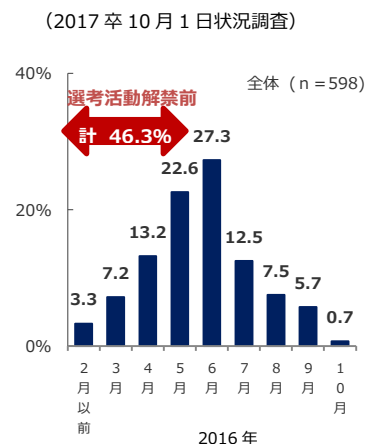


図 3 最初の内定獲得時期



**「準備・対策が不十分だった」との声も**

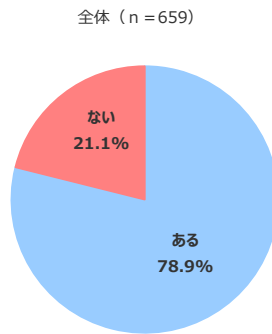
**適切な就職活動開始時期 50.2%の学生が「大学3年生の12月以前」と回答**

一方、広報解禁から選考解禁までの期間が短縮され、短期間に多くの予定が詰まっていたと思われる2017卒学生。振り返ると、反省や後悔もあるようだ。

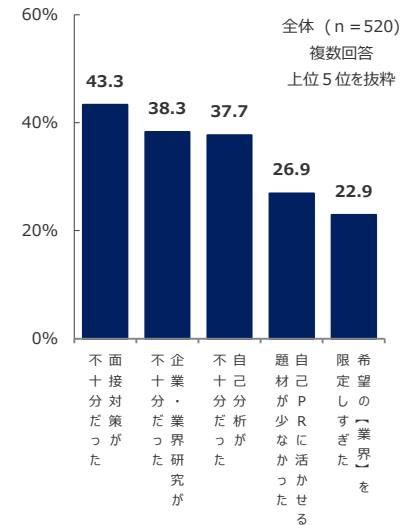
就職活動での反省・後悔がある学生は78.9% (図4)。彼らに具体的な内容を聞くと、「面接対策が不十分」「企業・業界研究が不十分」「自己分析が不十分」がトップ3となり、準備・対策不足が挙がる(図5)。特に、自身の適性や応募企業への理解不足は、入社後のミスマッチにもつながりかねず、しっかりと取り組む必要がある。

また、学生に、就職活動の開始時期(企業にエントリーをしたり、会社説明会に参加し始める時期)はいつが適切だと思うか聞いた。結果は、「3年生の1月～3月」が最も回答を集め35.2%となった。一方で、大学3年生の12月以前を回答した学生は50.2%と過半数を超え、多くの学生が現行のスケジュールよりも早い時期を望んでいることがわかった(図6)。

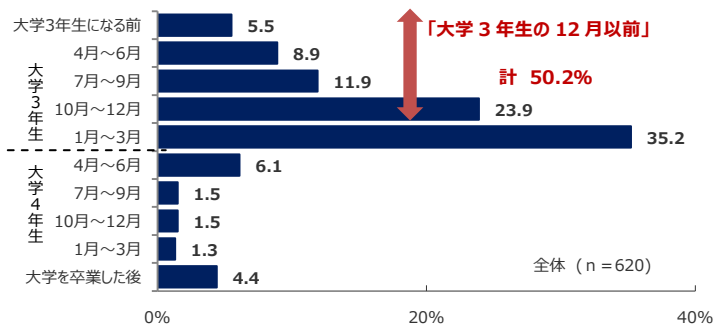
**図4 就職活動での反省・後悔**  
(2017卒10月1日状況調査)



**図5 就職活動での反省・後悔の内容**  
(2017卒10月1日状況調査)



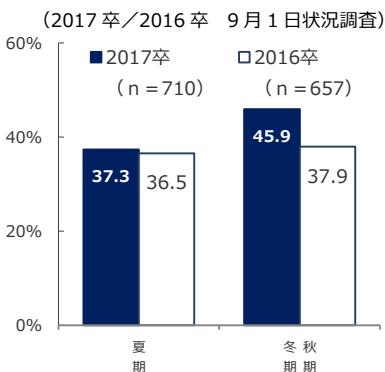
**図6 適切だと思う就職活動開始時期** (2017卒8月1日状況調査)



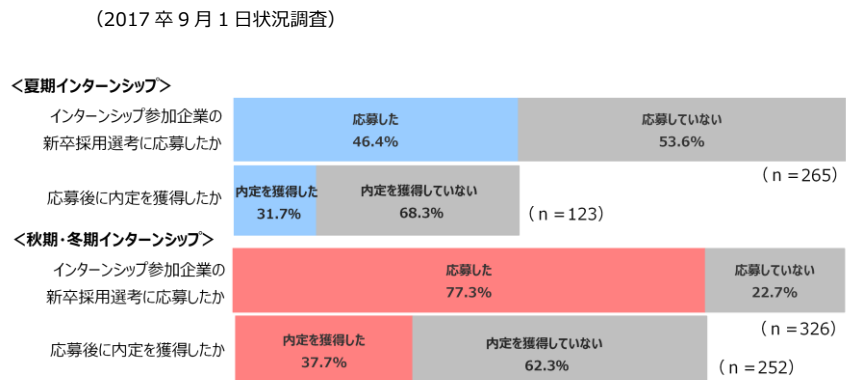
**高まるインターンシップの存在感 参加者の多くが採用選考へも応募**

大学3年次(大学院生は1年次)に「夏期インターンシップに参加した学生は37.3%、秋期・冬期インターンシップに参加した学生は45.9%と、4～5割に上り、インターンシップは就職活動対策として定着しつつある(図7)。参加した企業の新卒採用選考へは、夏期参加者の46.4%、秋期・冬期参加者の77.3%が応募したとしており、企業との早期接点は、応募意欲の醸成に影響しているようだ(図8)。

**図7 インターンシップ参加率**



**図8 インターンシップ参加企業への応募・内定状況**



## <企業>の状況

### 選考解禁後すぐの内定出しを狙ってか、「選考開始時期」は4月がピーク

2016年10月1日時点で、2017卒の新卒採用活動を既に終了した企業は30.9%。進捗状況は、従業員規模によって差が大きい(図9)。

新卒採用活動のスケジュールについて見ると、まず、「学校訪問や学生との接点づくり等開始」は、2015年7月以前から取り組む企業が多いようだ。「エントリー・応募受付開始」は、広報解禁月(3月)がピークだが、それ以前から始めている企業も一定数ある。「面接選考等開始」時期のピークは、「採用選考の指針」を踏まえると6月かと思いきや、2ヵ月早い4月となり、6月は次点となった。それに伴い「内定出し開始」時期も4月から伸び始めて6月にピークを迎える。ほぼ、選考解禁＝内定出しという状況になっており、選考解禁の6月よりも前に選考が進められていることがうかがえる(図10)。

図9 2017 卒新卒採用活動の進捗状況<従業員規模別>

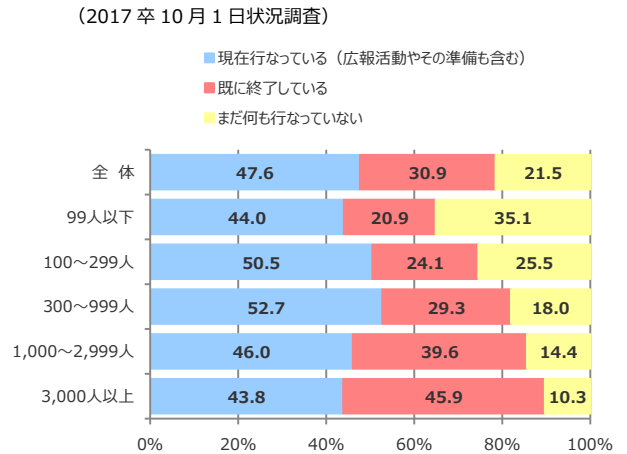
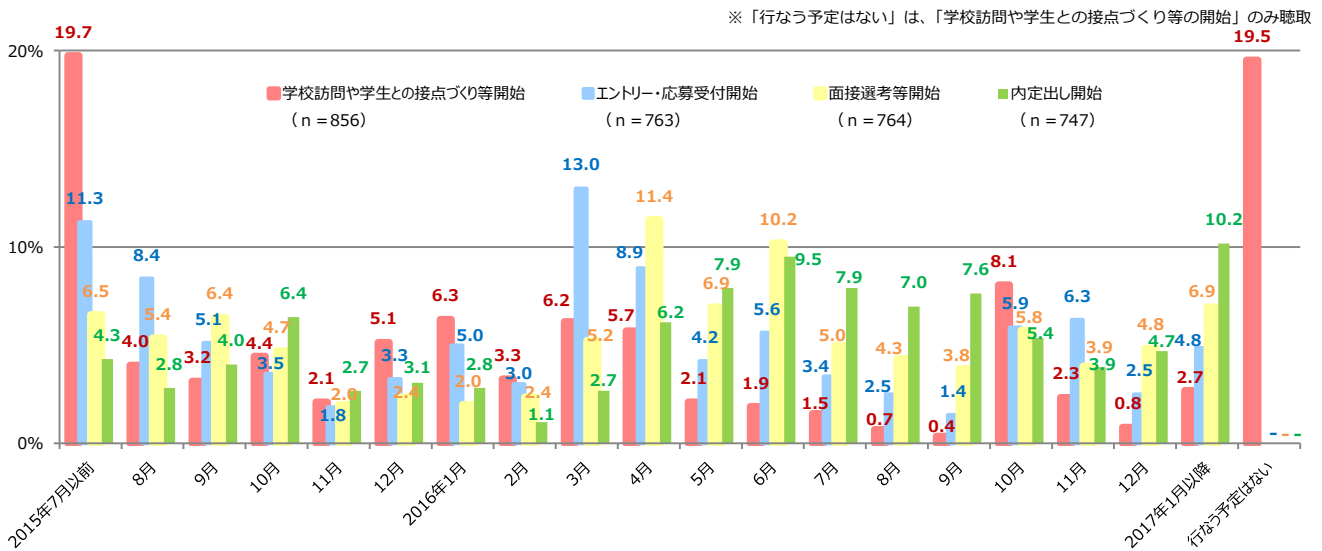


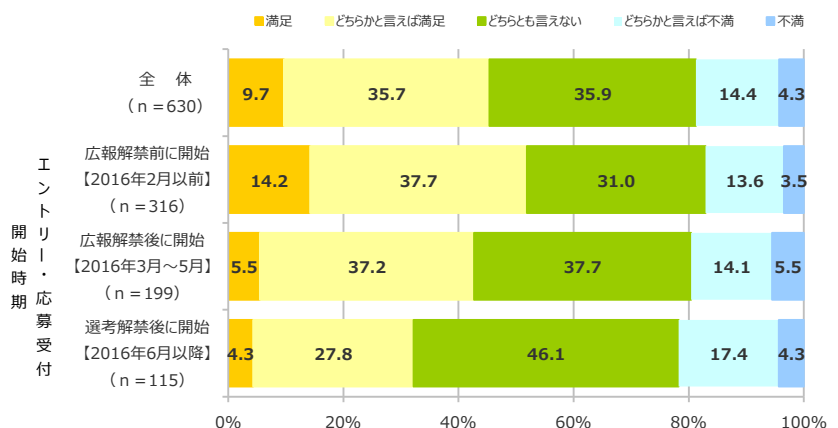
図10 2017 卒新卒採用活動のスケジュール<開始時期不明の回答者を除く> (2017 卒 10月1日状況調査)



採用活動全体に対する満足度(※図9 2017 卒新卒採用活動の進捗で「まだ何も行っていない」以外を回答した企業に聴取)では、45.7%の企業が「満足」または「どちらかと言えば満足」と回答した。図10のエントリー・応募受付開始時期別に見ると、エントリー・応募受付開始時期が早い企業ほど満足度が高い傾向がある。早期から動き出したことで、応募者の確保や入社意欲の醸成などが効果的に進んでいたのかもしれない(図11)。

図11 採用活動全体に対する満足度 (2017 卒 10月1日状況調査)

<エントリー・応募受付開始時期別 (開始時期不明の回答者を除く) >



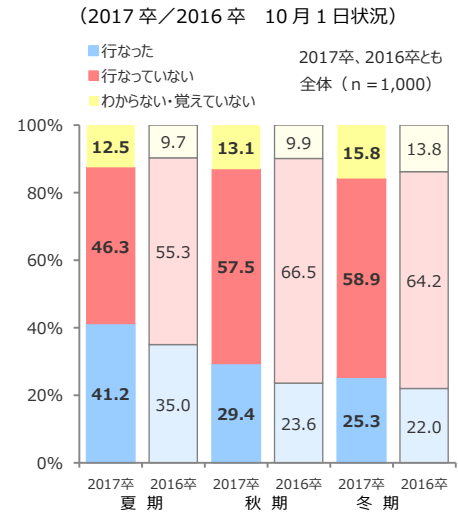
**インターンシップ実施企業は増加傾向 位置づけは「選考の一環」が最多**

図 10 で、「学校訪問や学生との接点づくり開始」時期を見ると、2017 卒学生が 3 年次(大学院生は 1 年次)だった 2015 年 7 月以前に最も高い数値となっており、夏期インターンシップ等が含まれていることが推測される。実際、インターンシップを取り入れる企業は、年々増加しつつあるようだ(図 12)。

また、インターンシップ実施企業では、約 5 割の企業がその位置づけを「選考の一環」としており、その割合も前年より高い(図 13~15)。

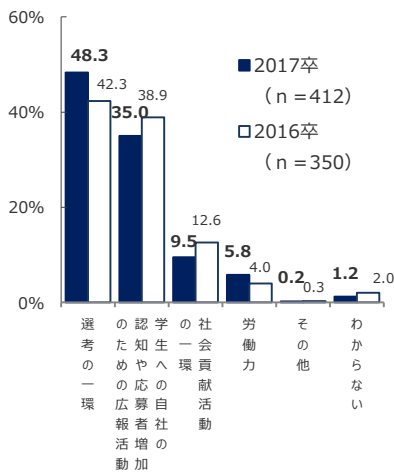
インターンシップ参加学生が、新卒採用選考にも応募してきたとする企業はおよそ 6 割(図 16)。そのうち、インターンシップ参加学生に内定を出した企業は 8 割以上に上った(図 17)。※図 12~17: インターンシップについては、2016 卒調査は「直近 3 年間に実施したもの」、2017 卒調査は「2017 卒学生を対象に実施したもの」について聴取。

**図 12 インターンシップ実施状況**



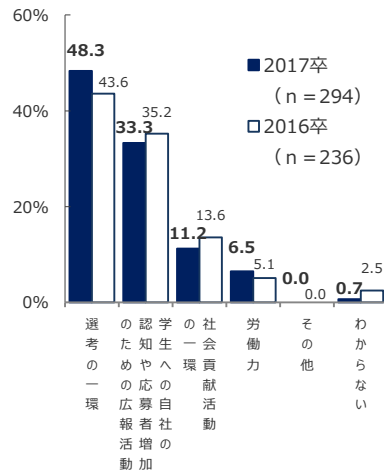
**図 13 インターンシップの位置づけ**

／夏期(2017 卒/2016 卒 10 月 1 日状況)



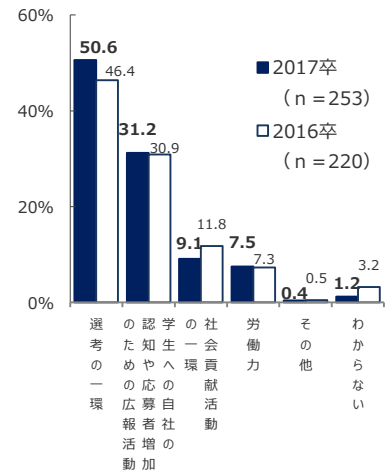
**図 14 インターンシップの位置づけ**

／秋期(2017 卒/2016 卒 10 月 1 日状況)



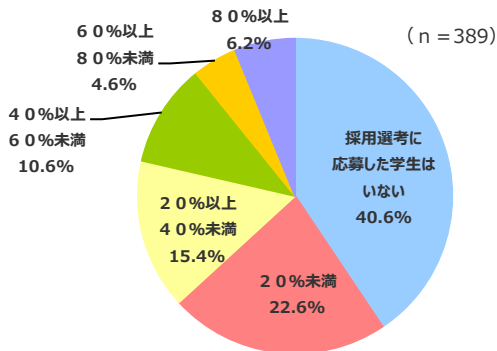
**図 15 インターンシップの位置づけ**

／冬期(2017 卒/2016 卒 10 月 1 日状況)



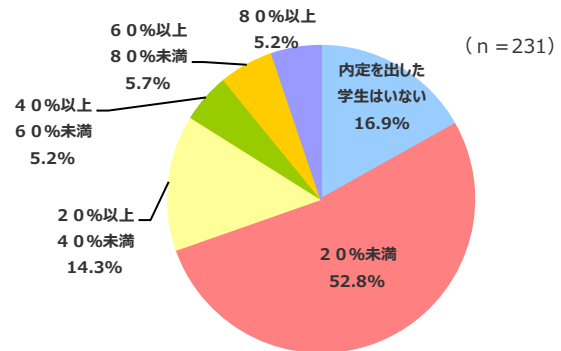
**図 16 インターンシップ参加学生のうち、どのくらいの学生が新卒採用選考に応募したか**

(2017 卒 10 月 1 日状況)



**図 17 インターンシップ参加学生で新卒採用選考に応募した学生のうち、どのくらいの学生に内定を出したか**

(2017 卒 10 月 1 日状況)



◆2017 年卒年就職・採用活動の調査詳細 「アイデム人と仕事研究所」 <https://apj.aidem.co.jp>

2017 年 3 月卒業学生の就職活動状況、企業の採用活動状況の詳細は、「アイデム人と仕事研究所」の WEB サイトからご覧いただけます。最新の 10 月 1 日状況調査の詳細は、10 月下旬(企業調査)と 11 月初旬(学生調査)に発表予定です。